

令和2年度 事業計画書

公益社団法人

阿見町シルバー人材センター

令和2年度 事業計画

【I】基本方針

阿見町の令和元年10月1日現在の常住人口は、47,775人(県内44市町村23番目、12町村1番目)で前年同月との比較で185人の増(増加6市町4番目)となりました。一方、65歳以上の人口は、13,256人(県内27番目)で前年より215人増え、高齢化率も27.9%(県内低い順で8番目、前年は27.6%)となりました。また、15歳から65歳未満までの生産年齢人口は、28,246人で前年より20人の減となりました。0歳から14歳までの年少人口も5,948人と前年より10人減少しています。当町においても徐々に少子高齢社会が進行しているものと推測され、超高齢社会への備えとして新たな「地域共生社会」の構築が必要になるものと考えられます。

加えて昨年10月からの消費税(一部増税8%→10%)改正や新型コロナウイルス感染症の発生に伴い感染拡大防止のための不要不急の外出自粛、小中高校の一斉臨時休校要請、町公共関連施設の休館、スポーツやイベント中止など東京オリンピックの開催が危ぶまれるような世界保健機関(WHO)のパンデミック(世界的大流行)表明は社会の活動を止め、経済活動停滞により国際社会に深刻な影響を及ぼすことが現実味を帯びてきており、事態の終息まで長期に及ぶことも懸念されます。

このような社会情勢の中、当シルバー人材センターには、健康で働く意欲のある知識や経験、技能のある高年齢者人材が豊富であり、地域社会の受け皿として、支え手となって活躍していく役割がますます重要になるものと認識いたしております。

当センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念のもとで生涯活躍し続けることが出来る「生涯現役社会」を実現するため、臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務の就業機会を提供するとともに会員の社会貢献活動及び研修、講習等によるスキルアップを通じて地域社会に根ざした活力溢れるセンターづくりに努めてまいります。

また、全シ協が掲げた「会員100万人計画(2024年度まで)」の目標達成に向けた「会員の拡大事業」を最重点実施事項として引き続き取り組んでまいります。

1 事業達成目標

- | | |
|----------|--|
| (1) 会員数 | 416人(前年度401人) |
| (2) 就業率 | 100%(請負、派遣合わせて) |
| (3) 契約件数 | 2,500件(請負、派遣合わせて) |
| (4) 契約金額 | 請負211,000千円、派遣40,000千円 |
| (5) 安全就業 | スローガン ①「チョットまで 作業の手順 手を抜くな！」
②「無災害 個々の意識が 実を結ぶ」 |

2 シルバー人材センター事業

(1) 会員の拡大事業（全国シルバー人材センター会員数 100 万人計画に向けて）

- ① 会員の入会促進⇒入会説明会開催日数の増加、出前による入会説明会開催（民児協、自治会、シルバークラブ・同好会、町職員退職時等）
- ② 会員の退会抑制⇒イベント開催、会員同好会制、ゴールド会員制検討
- ③ 会員勧誘の推進⇒役職員及び会員による会員紹介・勧誘活動
- ④ 女性会員の入会促進⇒女性会員によるネットワークの活用
- ⑤ 会員承認の迅速化⇒会員入会手続きの簡素化、迅速化
- ⑥ 賛助会員の入会促進⇒事業所等への勧誘訪問活動
- ⑦ ホームページによる入会情報発信

(2) 就業開拓提供事業

- ① 会員就業先の安定的確保に努め臨時的かつ短期的、軽易な就業機会を提供（請負、委任又は派遣就業）
- ② 役職員による会員就業事業所等への定期的な訪問活動
- ③ 情報収集の強化⇒会員による就業先データ、新旧顧客データ
- ④ 阿見町との連携強化⇒新規事業の情報・提案
- ⑤ 阿見町ふるさと応援寄附返礼品事業への参加
 - ア 空き家見守りサービスの提供
 - イ お墓のクリーンサービスの提供
- ⑥ 社会的資源の活用⇒新聞求人欄、折込みチラシ、店頭広告、就職情報誌、インターネット情報、町広報紙、公共施設 13 か所に備え置き、町会回覧
- ⑦ ハローワークとの関係強化⇒高年齢者の就業促進
- ⑧ 日常生活支援事業の提供⇒ゴミ出し、電球交換など
- ⑨ 専任職員による受注活動⇒事業所訪問、電話・ダイレクトメール発送など

(3) 調査研究事業

- ① 女性会員が増加している先進センターの取組み状況の調査研究
- ② アンケートによる顧客満足度調査
- ③ 近隣センターとの情報交換による比較調査研究（職種別・就業別配分金など）
- ④ 先進センター訪問によるセンター事業に関する各種調査研究
- ⑤ 当シルバー人材センター事業概要の編纂、作成

(4) 相談事業

- ① 会員への就業情報提供

- ② 未就業会員に対する個別就業相談
- ③ 公共施設等関連業務希望会員を対象とした新規就業相談及びワークシェアリングによる公平な就業機会の確保配置替就業相談

(5) 研修・講習事業

- ① 接遇マナー講習⇒職員、会員対象
- ② 植木手入れ講習⇒マツ剪定、果樹剪定
- ③ 県シ連が企画する高齢者人材育成事業との連携による講習

(6) 普及啓発事業

- ① 阿見町広報紙への掲載⇒センター事業PR紹介
- ② 会報紙の年4回発行⇒掲載企画
- ③ 事業普及のためのチラシ作成、配布⇒公共施設13か所に備え置き、町会回覧
- ④ シルバーの日(10/1)及び普及啓発促進月間(10月)におけるPR活動
- ⑤ 「阿見町さわやかフェア」イベント参加による普及活動(県シ連共同参加)
- ⑥ 啓発用タオル、ティッシュ、グッズ等の作成、配布
- ⑦ ホームページ活用による情報の迅速な発信

(7) ボランティア活動事業

- ① 阿見町予科練平和記念館の環境美化、奉仕活動
- ② 阿見小、植物園等の植木の手入れによる美化、奉仕活動
- ③ 霞ヶ浦周辺清掃美化、奉仕活動
- ④ 公共関連施設の環境美化、奉仕活動
- ⑤ 使用済み切手の回収、社会福祉協議会への寄附活動
- ⑥ フードバンク等への支援活動
- ⑦ 県シ連主催チャリティゴルフ大会参加活動

(8) 安全・適正就業推進事業

- ① 県シ連主催安全就業推進大会への参加⇒安全就業スローガン
- ② 安全就業ニュースの発行⇒事故事例紹介、改善策
- ③ 熱中症、インフルエンザ等の注意喚起対策⇒チラシ配布、ホームページ掲載
- ④ 安全巡回指導(安全パトロール)の実施⇒事故多発業務、夜間業務、運転業務
- ⑤ 交通安全講習、自動車安全運転講習の実施⇒職員、会員対象
- ⑥ 運転前のアルコールチェックの実施⇒職員、会員対象
- ⑦ 普通救命講習(AED)の実施⇒職員、会員対象
- ⑧ 認知症サポーター養成講座の実施⇒職員、会員対象

- ⑨ 適正就業への取組み⇒請負契約から派遣契約への切替え推奨（適正契約）
- ⑩ 会員の健康管理の実施⇒県シ連・ダイヤ事業財団共同研究事業「会員の健康・生活チェック」参加

【Ⅱ】法人管理事業等

1 会員の拡大のための目標値設定

(R2 会員数 416 人⇒R3 : 440 人⇒R4 : 465 人⇒R5:491 人⇒R6 会員数 519 人)

2 会議、研修の実施

- (1) 定時総会 年1回（6月）
- (2) 理事会 年8回開催
- (3) 役職員研修 役職員の資質向上を図るため、県シ連等研修への積極的参加

3 センター組織の強化と改善への取り組み

- (1) 襖・障子・網戸張替え、植木の手入れ、草取り・草刈り・草集め、日常清掃業務などに就業する会員の高年齢化対策及び就業会員募集対策を積極的に推進
- (2) 役職員を中心とする専門委員会活動や会員の講習・研修への参加等を通じて、スキルアップを図り、「自主・自立、共働・共助」の理念を発揮したセンター事業活動を効率的で効果的に実施し、組織の活性化と安定化を推進
- (3) 多様化するセンター業務を担う事務局体制の維持と適数適時を意識し、職員の意識改革や業務に精通した職員を適材適所に配置し組織の強化を推進
- (4) 同一労働同一賃金、働き方改革等による嘱託職員の待遇改善を推進
- (5) 定款及び規約、規程等の見直し、かつ整備を図り、センター事業の活動において法令遵守、社会規範に反することのない公正、公平な業務遂行を推進

4 財政基盤の確立

公益社団法人として関係法令を遵守し、経費節減等に努め、計画的かつ効率的な財政運営を図るとともに事業収益及び国や町からの補助金の財源確保による安定的経営基盤を確立し、健全財政に努める。